

芦田川での児童水難事故に対する緊急要望書

2016年9月15日

国土交通省中国整備局 福山河川国道事務所
所長 堀江 豊 様

日本共産党広島県議会議員
辻 恒雄
日本共産党福山市議会議員団
村井 明美
高木 武志
土屋 知紀
河村 晃子

9月11日、芦田川右岸水呑大橋西詰の南東400m付近で、市内の小学1年生の児童が転落し、死亡するという痛ましい事故が発生しました。心より哀悼の意を表明すると共に、ご遺族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。

同日は、福山市子ども会育成協議会が主催する、「芦田川一斉清掃」が行われていました。

報道によると、児童は護岸から3m離れ、水深1.2mの水中から発見されたとの事です。

事故現場付近の水中にはコンクリート護岸が施行されていますが、護岸法面は、苔などで滑りやすく、這い上がる事は困難です。

河川財団の「全国水難事故マップ」によると、2005年にもほぼ同じ場所で、女性が溺れる事故が発生しています。さらに2014年6月には、同地点から約2.2km下流でも小学生が転落し、死亡しましたが転落防止策は講じられておりません。水呑大橋以南から河口に近づくほど水深が深くなり、周辺における安全対策は緊急の課題です。

芦田川への転落死亡事故を繰り返さないためにも、緊急に以下の項目に取り組む事を要望します。

【要望項目】

1. 事故現場付近には、駐車場や遊具などが設置され、市民の憩いの場として親しまれていることから、緊急に転落防止策を講じること。
2. 子どもにも分かりやすいよう簡易な表現やイラストなど多用し、注意喚起の看板を設置すること。
3. 中国地方整備局のホームページに水難事故マップを掲載するなど、河川の危険性を周知し、冊子配布、出前講座などの機会を通じて、安全な河川利用の啓発活動を行うこと。
4. 関係機関と連携し、水難事故発生時の対応として救助訓練や心肺蘇生の体験講習会などを行うこと。
5. 気象情報等のメール情報に、雨量や河川の水位なども配信し注意喚起を促すこと。